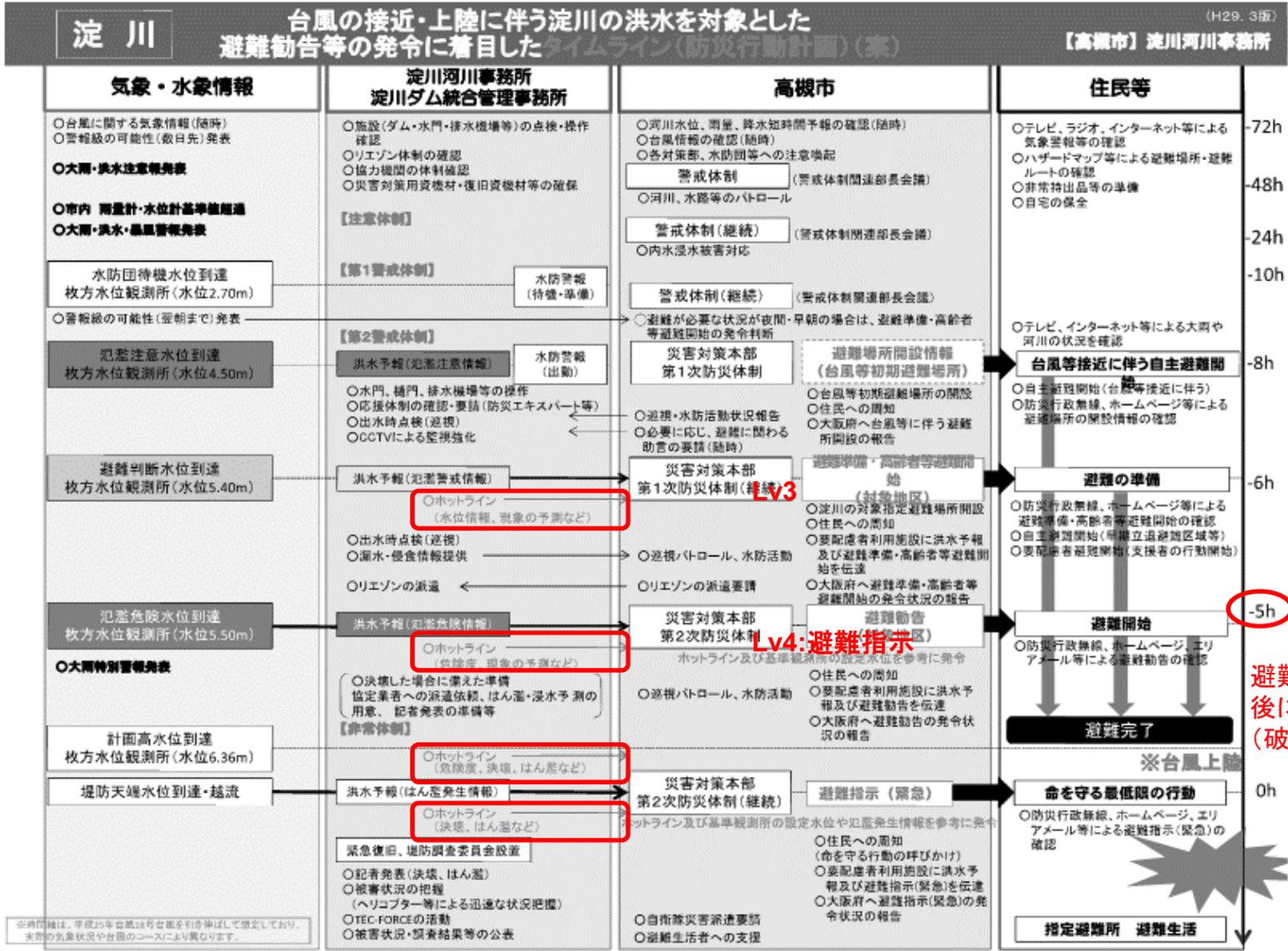


発出元 → 発出先

作成日_作成担当課_用途_保存期間

議題①: 河川管理者からのホットライン: 現状のタイミングで良いのか



避難指示から5時間後にはHWLに到達(破堤の恐れ大)

※内容は、平成25年台風18号台風を引き継いで想定しており、実際の気象状況や台風のコースにより異なります。

議題①: 河川管理者からのホットライン: 現状の情報提供と今後の対応

○河川管理者からの情報提供

- ・予測水位の共有
- ・リモート会議の試行
- ・ホットライン



<リモート会議の開催後の自治体意見>

- ・隣接市の状況(体制立ち上げ、避難所開設等)が共有できる。
- ・市の幹部会でも事前情報として話げできた。
- ・避難所開設は洪水の水位だけでなく、暴風を踏まえ、事前に開設することとしており、隣接市と情報を共有していきたい。

○リモート会議の接続を継続

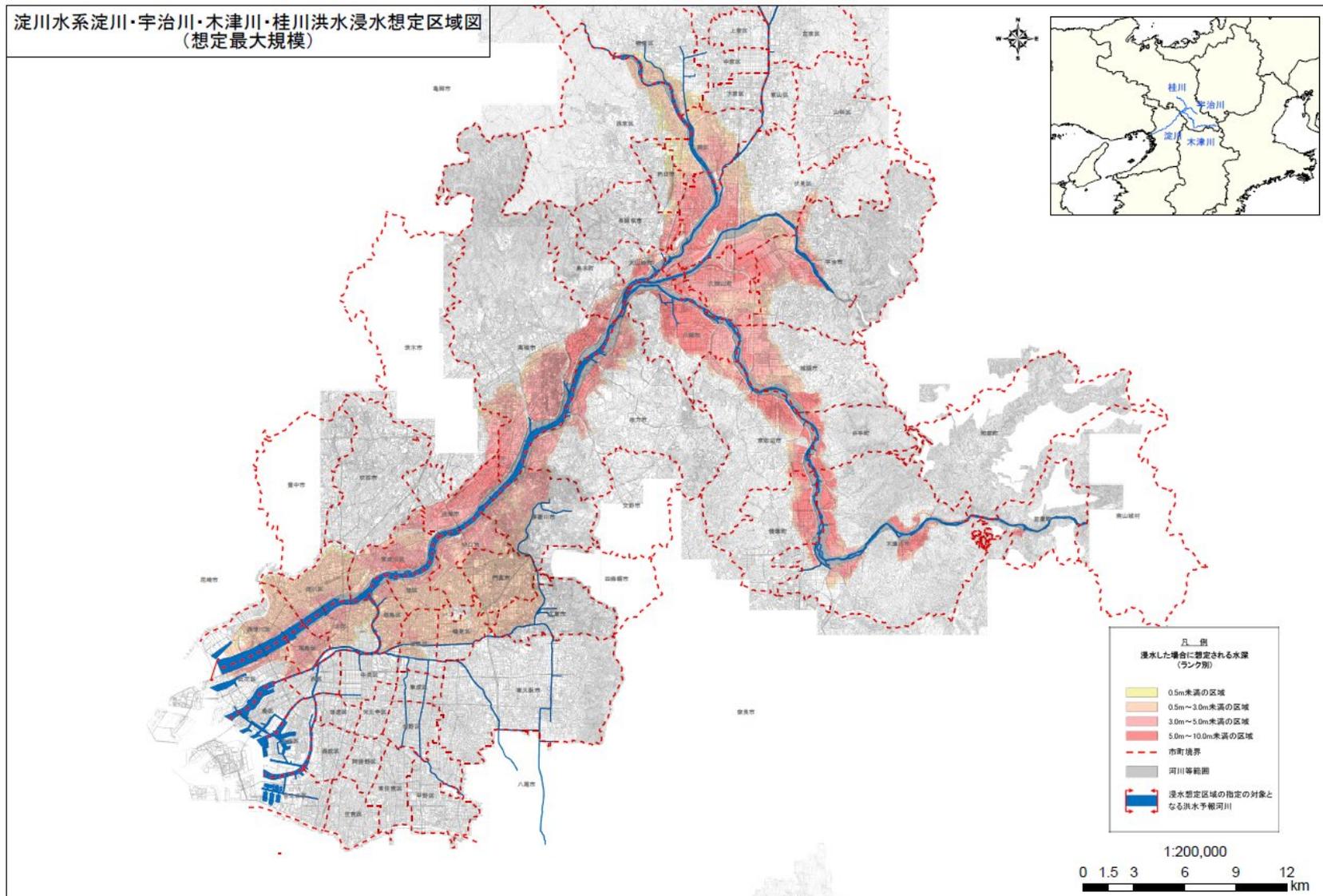
- ・通常、リモート会議等を行う場合は、会議時間のみ接続を行うが、**出水対応時(水防団出動等の警戒体制発令規模以上)にもリモート会議を継続して接続し、必要な情報はその都度共有。**



R3淀川水害協首長会議②広域災害の情報共有

発出元 → 発出先

議題②: 広域災害における情報共有とタイミング: 淀川の氾濫は市境を越える氾濫



R3淀川水害協首長会議②広域災害の情報共有

発出元 → 発出先

議題②: 広域災害における情報共有とタイミング: 空振りの懸念

避難時間だけでなく、近年洪水によるリードタイムを検討

- 浸水想定区域図(想定最大)では、平成25年洪水型を360mm/24hに引き延ばし、淀川の浸水リスクを表示しており、同様に木津川筋で多雨となった平成29年台風21号型、桂川筋で多雨かつ長時間の降雨となった平成30年7月豪雨を含む3洪水で洪水到達時間を確認。
- 3洪水とも想定最大規模となるため、水位上昇量も大きくなるが、**降雨からの判断であれば、9時間~27時間確保可能**だが、水位での判断では、**1時間~9時間**となるため、避難所開設や避難の移動を踏まえると、水位判断は困難。

○平成25年型(浸想図同様)

下記時点から計画高水位超過までの時間を確認

・降雨量からの時間

流域平均雨量50mm	15時間
流域平均雨量100mm	9時間

・水位からの時間

氾濫注意水位	2時間
避難判断水位	1時間

○平成29年型

下記時点から計画高水位超過までの時間を確認

・降雨量からの時間

流域平均雨量50mm	21時間
流域平均雨量100mm	16時間

・水位からの時間

氾濫注意水位	3時間
避難判断水位	2時間

○平成30年型

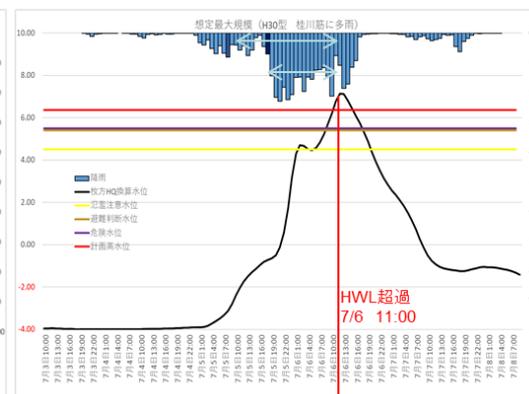
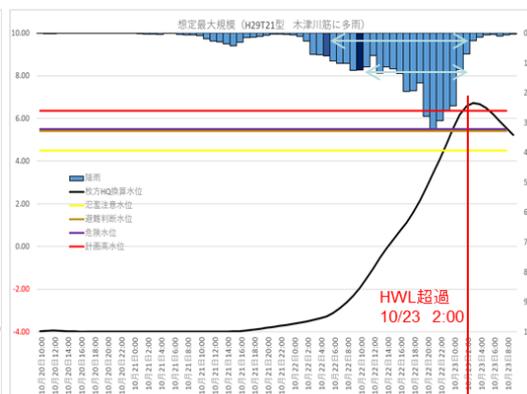
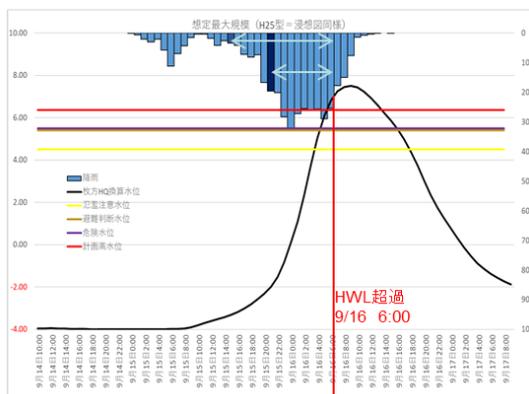
下記時点から計画高水位超過までの時間を確認

・降雨量からの時間

流域平均雨量50mm	27時間
流域平均雨量100mm	16時間

・水位からの時間

氾濫注意水位	9時間
避難判断水位	2時間



大阪府域三島広域避難WGでの議論

・広域避難のタイミングは、洪水発生前の予測降雨での判断が必要。

